

物語 東ドイツの歴史

分断国家の挑戦と挫折

中公新書 河合信晴著

180781084 杉山大輝

ドイツについて

人口 約8315万人

面積 35.7万平方キロメートル

首都 ベルリン

ゲルマン系を主体とするドイツ民族

言語 ドイツ語

ソ連占領地区でのドイツ

1945年 5月8日にドイツは連合国に対する無条件降伏文書に調印したことで第二次大戦が終戦



米・ソ・英・仏の4ヶ国による分割占領が始まる
首都ベルリンも4ヶ国によって分割占領される



ポツダム協定よりドイツの非ナチ化・非軍事化
民主化・脱中央集権化が進められる



両党の統一によるドイツ社会主義統一党

非ナチ化

1946年1月 公職追放

公務員の半数以上→旧ナチ黨員→職業追放

司法関係者 約85%→2.9%までに減少

初等中等教育→11%



人材難から旧ナチ関係者も再登用

土地改革

生産力が高い大農場の解体、家畜や農業機械、納屋等も分割される



農業経営の基盤が崩壊し食糧事情を逼迫させる

冷戦の激化

1946年

米・ソの関係悪化により西側とソ連それぞれの占領地区で行政管理体制の擦れ違い

1947年6月4日

ミュンヘン首相会議

東側⇒ドイツ全体の行政機関の創設

西側⇒切迫する食料や経済、被追放難民への対応



双方の意見の食い違いから分裂が進む

ライヒスマルクの廃止→ドイツマルクの導入

導入阻止のため、西側占領地区、西ベルリンを結ぶ交通を遮断

結果

東側は西側と取引を行えなくなり経済面でも分裂が進むこととなった

東西ドイツの成立

1949年5月23日、西側の米・英・仏合同占領地区で各州から選出された代表者による議会評議会において西ドイツ・ボン基本法を公布



ドイツ連邦共和国(西ドイツ)が建国される

1949年5月末

東ドイツ憲法制定のための人民評議会を選出

1949年10月7日

ドイツ民主共和国(東ドイツ)が建国される



ベルリンの壁建設

東ドイツでは経済的に苦しむ人々の西側への逃亡が相次ぐ



1961年8月13日

総延長約160キロに及ぶ西ベルリンを囲む境界ができる

建設理由は西ドイツにいるナチスが東ドイツに浸透するのを防ぐためというのが公式的であったが実際には東ドイツへの西ドイツの浸透を防ぐためであった

東ドイツの生活

東西分裂による部品供給のストップ

- ・商品の欠陥や不足が相次ぐ
- ・車の予約から納入までに10年

1970年代

女性の社会進出の促進

- ・労働時間の削減
- ・出産休暇数18週
- ・子育てできる環境での職場復帰



結果

当該年齢の60%の子供が保育所を利用
幼稚園収容率約90%

生活用品、暖房用燃料、衣服、公共交通機関の料金と家賃、光熱費等は補助金が出された

耐久消費財や高級製品の高価格化してその売り上げを補助金として利用



メリット

- ・価格が安く抑えられる

デメリット

- ・消費の不平等・不公平が露呈
- ・炭水化物の消費増加→肥満
- ・暖房の無駄遣い→環境汚染

東西ドイツの統一

ソ連との関係悪化

1970年代～1980年代

西側諸国との国交回復や東ドイツの西ドイツへの依存によってソ連からの経済支援削減

1989年11月9日

ベルリンの壁崩壊

東ドイツは西ドイツに多額の借款があり、東ドイツが西ドイツに売却される形で統合

おわりに

社会主義統一党の体制を安定させるための仕組みが経済格差や環境汚染を引き起こし、西ドイツの経済を超える、文化的な影響力を遮断するという方向性がありながらも、経済的な依存が進んでいったという矛盾が、結果的に東ドイツの崩壊に繋がることとなった。

Fin.

